

「心のノート」の活用

第6回道徳教育推進リーダー養成プログラム
平成19年10月24日(水)

講話のアウトライン

- 「心のノート」の趣旨と特徴
- 「心のノート」の内容構成
- 「心のノート」の活用場面
- 「心のノート」の活用例
- 生命を大切にする心を育てるために「心のノート」の活用
- 「心のノート」の計画的な活用

「心のノート」に期待すること

全教育活動における道徳教育の充実

道徳教育に関する子どもの主体的な学びの促進

家庭・地域における道徳教育との連携の推進

「心のノート」の3つの特徴

<p>自学自習</p> <p>子ども一人一人が道徳的価値について興味を持ったとき、自ら学ぶための冊子</p>	<p>心の記録</p> <p>子どもが自己の生活や体験をふり返り、記録することのできる心の記録となる冊子</p>	<p>心のかけ橋</p> <p>学校と家庭・地域が心の教育を話題にし、共に子どもの心を育むための冊子</p>
---	---	---

パンフレット

「心のノート」
子どもたちの心を
はぐくむ

小学校

見つけ 考え
はぐくんでいく
豊かな心

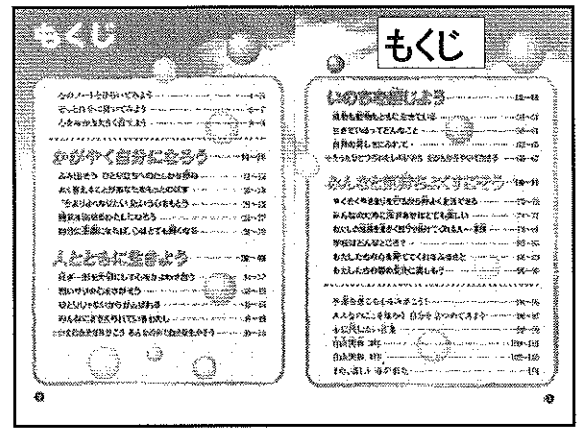
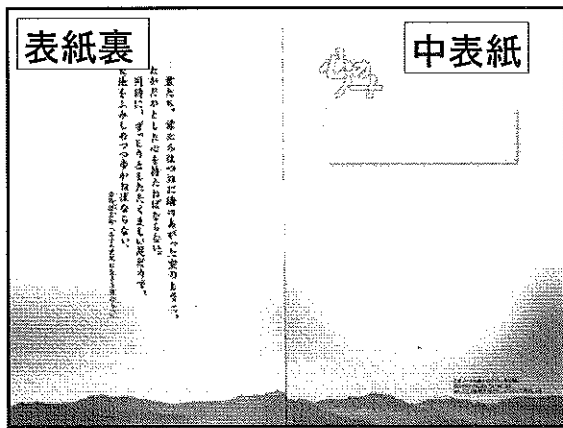
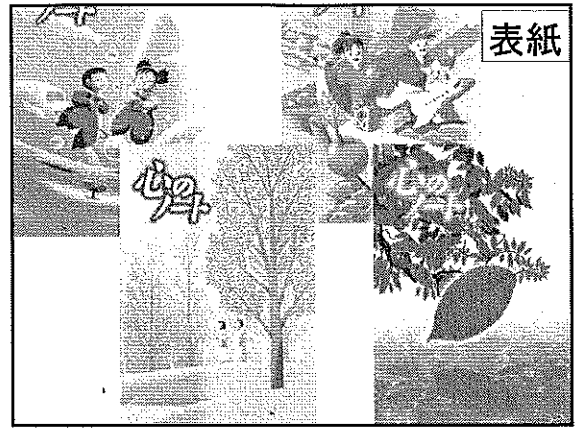


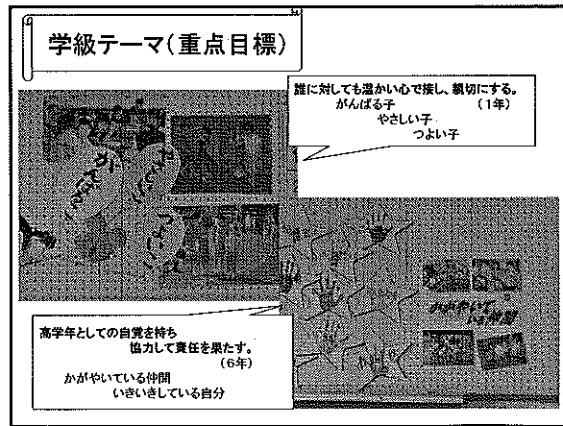
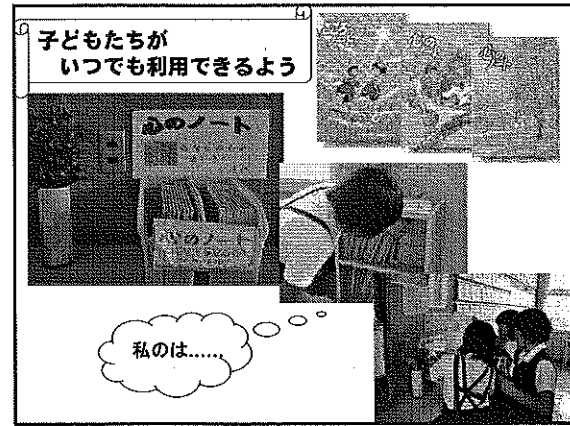
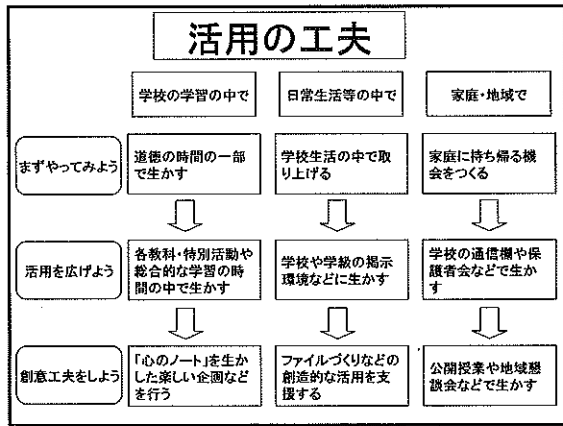
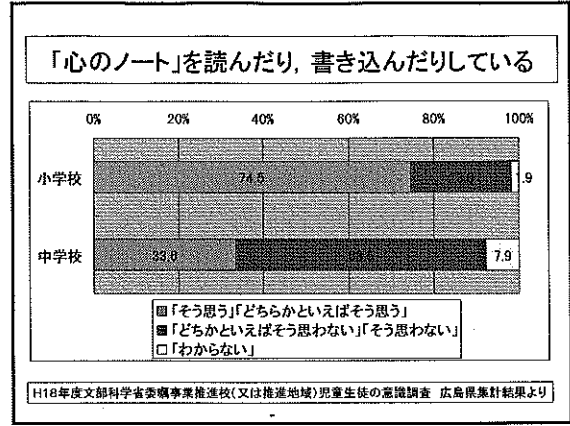
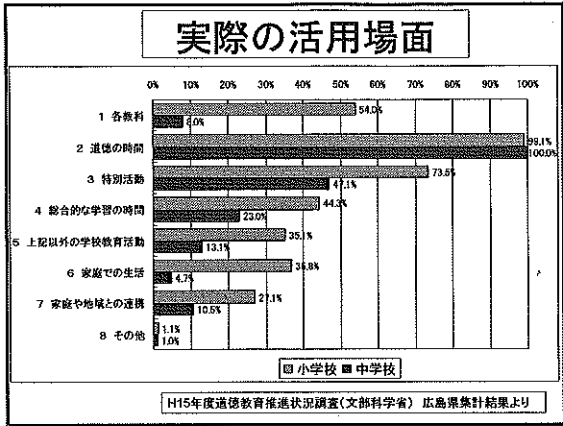

「心のノート」
子どもたちの心を
はぐくむ

小学校

「心のノート」子どもたちととも考え大切なおこと







児童会テーマとして

どれにしよう。言葉があるのがいいよ。

よし！できた。

道徳の時間に

親子で
～じょうずにできたかな～

「あいさつ
できたかな。」
いただきます。
おはよう。
いってあります。

各教科において

5年生 理科:魚や人の誕生
単元最後の1時間で

ねらい:～生命の連続性についての見方や考え方を深め、生命誕生のすばらしさを感じ取らせるとともに、生命を尊重する態度を育てる。

子どもたちの記録内容

- 自分の命を大切にしないといけないことを学んだ。
- 命はひとつしかないとても大切なもの。たった一人しかない自分だからこそ、1日1日を大切にしていきたい。
- 自分の命は自分で守らなければいけないと思った。
- 自分の命は絶対にむだにしたらいけないと思った。
- 胎児はどんどん成長して不思議です。
- 人はほんの小さな命から生まれてきたからすごい。

小学校低学年

10月にあそび

**生きていたね、
つなげていたね、
つながっているね。**

小学校中学年

**いのちを
感得しよう**

この本は、いのちの大切さを伝えるための教材です。子どもたちが、いのちの大切さを理解し、感得できるように、写真やイラストを用いて、いのちの大切さを伝える内容になっています。

この本は、いのちの大切さを伝えるための教材です。子どもたちが、いのちの大切さを理解し、感得できるように、写真やイラストを用いて、いのちの大切さを伝える内容になっています。

生きていくってなんだと

かけがえのないいのちだから、みんな助け合って生きている

みんな助け合って生きている

かけがえのないいのちだから、みんな助け合って生きている

たつたのどつのはれのいのち

たつたのどつのはれのいのち

小学校高学年

生命を愛おしむ

この本は、いのちの大切さを伝えるための教材です。子どもたちが、いのちの大切さを理解し、感得できるように、写真やイラストを用いて、いのちの大切さを伝える内容になっています。

いま生きてるわたしを愛しよう

愛を込めて

この本は、いのちの大切さを伝えるための教材です。子どもたちが、いのちの大切さを理解し、感得できるように、写真やイラストを用いて、いのちの大切さを伝える内容になっています。

かけ算のあそび いのち

大倉 幸太郎のつづりて
 かけ算のあそび いのち
 つなげ
 支え合う

この世に必要のない命などひとつもないのです。

中学校

かけ算のあそび いのち

中学校の授業は、子どもたちが主体的に学び、考え、表現する場です。先生は、子どもたちの学びを支える役割を担っています。

授業の目標は、知識・技能、思考力・判断力・問題解決力、学びに向かう力・人間性等を育成することです。

生命を考える


偶然性
 いまここにいる不思議

生命の不思議さ、偶然性、偶然性、偶然性。いまここにいる不思議さ。偶然性、偶然性、偶然性。いまここにいる不思議さ。



有限性
 いつか終わりがあること

連続性
 ずっとつながっていること



生かし方、振り返りのポイント例

- 子どもがいつでも使えるようにしているか
- 日常生活の中で折にふれて取り上げているか
- 子どもと活用の仕方話をしたり個別の助言をしているか
- 道徳の時間をはじめ学習の中で生かされているか
- 学校としての生かし方の報告が共通理解されているか
- 計画などに生かし方が柔軟に位置付けられているか
- 冊子の趣旨や生かし方について保護者等に伝えているか
- 子どもが家に持ち帰れるように配慮しているか

活用を広げるための課題とその取組み

- 学校としての用いの方針を決め全教職員で共通理解をする
- 道徳教育の計画への位置付けをする
- 子どもの活用のためのオリエンテーション的な機会をもつ
- 子どもの思いや子どもを一人一人の事情等への配慮をする
- 一人一人が違う個性的なノートになるように援助する
- 校内研修などの資料として生かす

